



第10号

高知県立高知国際中学校だより

高知県立高知国際中学校 KOCHI KOKUSAI Junior High School
〒780-8052 高知県高知市鴨部2丁目5番70号

令和元年度が終わります

校長 森本 民之助

令和元年度が終わります。年度が変わることは大きな節目で、生徒の皆さんは新しい学年に進級し、新入生が入学して新しい出会いが生まれるときです。本校は一年間の中に学期という節目を設け、各学期の最終日に終業式を行っています。三学期の最終日に一年間の教育活動を終え、所定の教育活動を修了したという意味で修了式といえます。本年度は3月24日（火）の予定でしたが、全国的な新型コロナウイルスの感染の広がりにより、高知県教育委員会の指示のもと3月4日（水）～24日（火）を臨時休業としましたので、残念ですが実施することができません。

翌日の3月25日（水）からは春休みになるので、3月3日（火）の全体集会が本年度最後の集まりとなりました。令和2年度の始業式までの長い期間、登校することはありません。一人一人が新型コロナウイルス感染の世界的な状況を把握し、適切な判断で自己を管理し、規則正しい生活を送っていただいているものと思います。

さて、3月中旬頃のことですが、テレビを見てみると「開運！なんでも鑑定団」という番組の中で佐賀県有田市にある柿右衛門様式の磁器が取り上げられていました。柿右衛門様式とは十七世紀に初代柿右衛門が赤絵を創始し、白磁の美しさと調和性を究極まで高め、柿右衛門様式として確立させたもの。それ以降、十五代に渡り現代までその美意識（伝統）が受け継がれています。この番組では、取り上げられた磁器が本物ならかなりの値打ちがあるというもので、期待にドキドキする番組でした。なぜ、この番組が気になったかという、本年度、私の強く印象に残った出会いの一つに、この柿右衛門様式の磁器があったのです。私は令和2年度に高知県で開催する全国高等学校総合文化祭（2020こうち総文）のために佐賀県を視察しました。高校生の演劇、吹奏楽、管弦楽、美術・工芸、書道など芸術文化に関する最も大きな全国大会の一つで、その質の高さや熱い思いを素直に感じ、昂揚を抑えきれませんでした。視察の後半（令和元年7月29日（月））に茶道部門の研修会を行っている柿右衛門の窯元を訪問しました。茶道部門の担当の方に「佐賀県には有名な窯元があり、充実した施設で高校生の研修会ができるのはいいですね。」と尋ねました。すると、担当の方からは「私たちもこの施設を使うのは初めてです。全国大会のような機会がなければ、簡単に借りることはできません。とても貴重な体験です。」とのこと。そして、そこで私は初めて柿右衛門様式の磁器を間近で見ました。見れば見るほどその温かみのある乳白色の美しさに魅了されました。デパートやホテルなどに佐賀県や外国の有名な銘柄の作品が販売されており、どれも素晴らしいと思うのですが、私の中ではどうしても柿右衛門様式の磁器に魅力を感じてしまいます。

私はこの一年間に人との出会い、ものとの出会い、出来事との出会いなど、多くの出会いがありましたが、その中でも柿右衛門との出会いは大きな衝撃でした。どれだけ一生懸命にこだわりをもって誠心誠意かかわっているか、そして、出来あがるまでどれだけ時間がかかったかを感じずにはいられません。人に影響を及ぼす大きさはこのようなことが関係し、本物になることの条件の一つのように感じました。中学生の多感な時期にできるだけ多くの本物に出会うこと、そして何事にも真摯な態度で臨み一生懸命になること、素直な気持ちでものごとを見るのが本物を感じ楽しむ感性を育ててと思っています。そして本物との出会いを感じ楽しむ能力をもつことは人生を豊かにすることにつながります。本年度は本校では狂言に触れ、オーケストラの演奏を聴き、アカペラパフォーマンスを楽しむなど、その道で頑張っている方々に出会いました。来年度もできるだけ多くの出会いの場面をつくり、学校全体により影響が広がるように考えています。そして、生徒の皆さん一人一人がそれぞれに本物を感じ楽しむ感性をもってほしいと願っています。

3月25日（水）から春休みです。ぜひ、皆さんにとっての本物を探し始めてほしいです。意外と近くに発見できるかもしれません。それでは、新たらしい年度になって成長した皆さんとお会いできることを楽しみにしています。くれぐれも事故や事件に遭わないよう気を付けてお過ごしください。何事にも油断なさらぬよう。

離任のあいさつ



主幹教諭 井上祐子

この度の異動で、高知国際高等学校に勤務することになりました。同じ敷地で、引き続きみなさんと学校生活を送りながら、令和3年度の開校に向け、中学、高校の6年間をより有意義なものにするため、準備を進めていきます。高知国際高校の学校づくりには、みなさんの今と未来に寄り添うことが大切だと思っています。品位ある高知国際高等学校を一緒に創りましょう。これから授業や活動でお目にかかります。どうぞよろしくお願いいたします。

1年学年主任・英語科・生徒指導部 堀見絵里沙

こんにちは。香美市立香北中学校に異動することになりました。この2年間、あっという間でした。最初は英語って難しい!!わからない!!と言っていた皆さんが、どんどん吸収をして、自分の思いや考えを話したり書いたりすることができるようになっていく姿を見ることはとても嬉しかったです。こんなに早く学校を離れることに正直驚いていますが、大宮小学校、香北中学校はPYP、MYPの認定を目指す学校です。高知国際中学校で皆さんと一緒に勉強したことをいかして、新たな気持ちで頑張ります。

理科・総務担当 前田信幸

9月からの7か月間のみでしたが、PTA関係、中学校だより、理科のTT等で仕事をさせていただきました。現役のところ、私は高校の理科教員でしたので、中学校の理科の授業は本当に新鮮で、生徒の皆さんと一緒に毎日楽しく勉強することができました。私は、4月から教員としての立場を離れますが、皆さんがより充実した中学校生活を送られることを陰ながら応援しています。ありがとうございました。

高知国際中学校第二回錬歩会 生徒指導・サポート部 体育科 古屋佑奈、総務担当 前田信幸

2月4日(火)に、高知西高校と合同で錬歩会を実施しました。昨年は全員が全長 13km の起伏のあるコースにチャレンジしましたが、昨年度の振り返りを踏まえ、今回は3つのコースから選択できるようにし、1・2年生合同のチームを作って歩きました。どのコースもとても長い道のりでしたが、ほとんどの生徒が無事にゴールすることができました。天候にも恵まれて、山の頂上から見る景色は素晴らしかったです。

タイムを計測しながら歩くというチャレンジコースを選んだグループでは、しんどくなってきた友達の荷物を持ってあげ、背中を押してあげる場面もありました。走りたい気持ちを抑えて全体の様子を見ながら歩幅を合わせていました。自分もしんどいはずなのに、友達や先生に「大丈夫?」「頑張ろう!」と声をかけてあげる場面もたくさんみられました。自分がつらい時こそ他人を思いやるということは、簡単なことではありません。その様子を見て、思いやりの気持ちが育っていると感じられたと同時に、周囲に気を配り、1年生のサポートができる2年生がとても頼もしく感じられました。1年生も、初めての錬歩会で不安な中、本当によく頑張りました!

今年初めて設定された鏡川コース(鏡川北岸を進み、皿ヶ峰までを往復するコース)では、春を思わせる心地よいそよ風が吹く中ゆっくりと皿ヶ峰まで歩いていきました。山頂につく前に、南嶺コースを走ってきたと思われる高校2年生男子たちのチームが走り下りてきて、あまりの速さに中学生もびっくりしていました。市営グラウンド横の階段広場で昼食をとり、ゆったりした気分で帰ってきました。

終わって見た今、つらかった思い出として残っている人もいるかもしれませんが、心地よい疲労感と達成感を味わうことが出来た人も少なくないのではないのでしょうか。ご協力いただいた保護者の皆様、途中で見守ってくださった高知西高校の先生方、ありがとうございました。



錬歩会の一コマ

【撮影：PTA 広報部】

★保護者シェア会やPTAの会議がありました★

総務担当 堀 謙一 前田 信幸

- 1月28日(火)、保護者シェア会を行いました。

高知県教育委員会事務局高等学校振興課の高野課長が講師となり「高知国際中学校・高等学校の設立の趣旨と経緯について」という演題で講演がありました。高野課長からは、高知国際中学校・高等学校がえられるまでの経緯が熱く語られました。最後には、公立のIB校として成功するためには、生徒・保護者・教職員が10の学習者像として学び続けることが必要との話がありました。

また、MYPコーディネーターの堀教諭からは「IB教育についての理解」、理科の重森教諭からは「理科の授業実践報告」がありました。

- 1月31日(金)、加藤学園暁秀高等学校からウェンドフェルト延子先生を講師としてお迎えし、「国際バカロレア6年間の見通し」の内容で、保護者シェア会を行いました。
- 2月5日(水)、来年度のPTA活動についてPTAホーム委員会を行いました。
- 2月21日(金)、PTAホーム委員・役員合同会議が開催され、今年度の反省と来年度に向けての検討課題が話し合われました。

★教室の教科センター化の試行進む★ 教務部 二宮脩

3学期から、教室の教科センター化の試行を行っています。これは、各教室において教科の資料や学習成果の展示、ATLの提示など、教科の学びを意識させる環境を整えることを目的としています。生徒には、授業時間ごとに荷物を持って教室を移動するデメリットもありますが、それ以上のメリットがあることを確認するために試行を行っています。最終フィードバックで特に目立った混乱等がないようでしたら、来年度当初からの本格実施を検討していきます。

IB コンサルタントの学校訪問がありました！ 担当 佐野武

2月20日（木）、21日（金）の両日、国際バカロレア・ディプロマプログラム（IB DP）コンサルタント山田浩美氏の学校訪問がありました。

この訪問は、国際バカロレア（IB）の認定校になるために必要な手順のひとつで、IB校として認められるかを関係者への面談や施設の確認を通して、認定を受けられるようにアドバイスを行うものです。コンサルタント訪問後、学校はレポート結果を受け取り、来年度

10月ごろに行われる予定のIBの確認訪問までに改善に取り組みます。



★DP 放課後なな子カフェ★

進路 佐野武 総務 前田信幸

2月13日（木）、DP放課後なな子カフェを行い、IBの先進校である東京学芸大学附属国際中等教育学校（以下TGUISS）のDP生（高校2年生）とスカイプを活用してプレゼンテーションと質疑応答を行いました。TGUISSのDP生からは、

- ・DPは楽しく、やりがいがある
- ・DPが自分に合っているか何度も確認する必要がある
- ・授業はしっかりと理解し、課題はしっかりとこなす
- ・日ごろから勉強をする習慣をつけておく
- ・英語の勉強が大切
- ・スケジュール管理が大切



などの話がありました。本校にはまだDP生がいませんので、生徒達からたくさんの質問がDP生に投げかけられ、リアルタイムで答えてもらうことで、DPへの進路選択について理解を深めることができました。県外のDP生とは、来年度も交流を続けていきたいと考えています。

岡山大学グローバル・ディスカバリー・プログラム校内研修会 主幹教諭 井上祐子 総務 前田信幸

2月27日（木）、岡山大学グローバル・ディスカバリー・プログラムの牛田英子准教授をお迎えし、高知国際中学校と高知西高校の教職員が参加し、校内研修を行いました。

初めに、牛田先生が岡山大学の准教授になるまでの自己紹介を英語でなされ、その後、グローバル・ディスカバリー・プログラムの内容や大学入試、これからの社会で求められる人材について講演がありました。講演の中で、入学後伸びる学生について、読み、書き、調べること、失敗を恐れず人とコミュニケーションをとることを積極的に行えるタイプの学生は、壁にぶつかっても伸びるというお話がありました。

また、グローバル社会に求められる人材として、

- ・自分の「Confort zone（心地よい居場所）」から出る勇気を持つ
- ・英語でコミュニケーション（生活レベル+専門レベル、豊かな表現力で）できること
- ・テクノロジー（タブレットではなくPC）を使いこなすスキル
- ・好奇心とチャレンジ精神を持つこと
- ・失敗と挫折は成長の糧
- ・多様性があるって当然、みんな違うのが当たり前と思えること
- ・時代を先読みし、不測の事態への対応力を持つ
- ・Smileは世界の共通語 などのお話がありました。

最後に、「誰もが住みたいようなステキな国にすることが大切」、という言葉で締めくくられました。

グローバルを突き詰めていくと、本校の目指す学習者像に行き着くと考えさせられる内容の講演でした。



オンライン授業の試み

理科 重森 健介 佐野 武

3月10日（火）より、オンライン授業の試みに取り組みました。新型コロナウイルスの感染予防のため、3月4日より家庭学習となっていました。3月10日から12日にかけて、1年生の1回目の理科の授業をオンラインで行いました。画面上とはいえ、久しぶりに顔を合わすことができ喜んでる生徒たちもいました。

オンライン授業は、教員、生徒とも初めての試みであり、うまくいかどうか不安と期待の中で授業が始まりました。授業は、1クラスを10人ずつに分け、1クラスあたり3回行いました。日頃からタブレットを使用することに慣れているとはいえ、勝手の違いに戸惑う場面もあり、ディスカッションがうまく進まないグループもありました。しかし、ほとんどの生徒が事前の予習をしていた関係もあったのか、本番では思いのほか距離感を感じさせないような議論もあり、生徒たちの適応能力の高さにびっくりしながら授業が進められました。

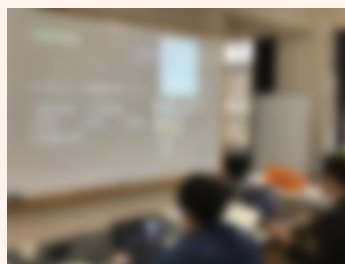
オンライン授業の様子は、3月12日（木）の高知新聞に、「休校中はオンライン授業 高知国際中端末使い実現 生徒『暇じゃなくいい!』」と掲載されました。

また、2回目の授業は、3月18日から19日にかけて行いました。

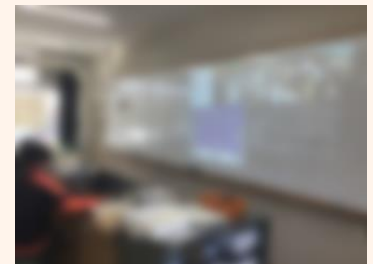
今回は、理科のみの試行でしたが、他の教員も生徒との連絡や家庭での様子の確認に活用する姿が見られました。

将来、台風・大雨時の休校やインフルエンザ等の臨時休業等、突発的なことが起こっても日ごろからの探究活動を行っている生徒たちは、教科によっては授業の保証ができるのではないかなと思える試みでした。

来年度以降に向けて、内容の検討や他の教科でも行えるかどうか、実践を深めながら検討を進めていきます。



1回目の授業のようす



2回目の授業のようす

★令和元年度高知県児童生徒表彰 受賞!★

本年度の高知県児童生徒表彰で、本校2年生のVillage Jamboreeグループと本校生徒会が表彰されました。

●Village Jamboree (岩井さん、岡谷さん、中城さん、宮川さん)

「こうちこどもファンド」を活用した愛宕商店街の活性化のためにフリーペーパー「ATAGOBITO」を月1回刊行。刊行までに愛宕商店街の方たちへのインタビュー取材、編集、印刷業者との打ち合わせ等を全て自分たちで実施している。

●「高知家」児童生徒会援隊 (近森さん)

いじめ問題の解決に向けて、県内3小学校、6中学校(高知国際中学校含む)、1高等学校の児童生徒が主体となった取組の企画、運営の仕方について考え、県内に発信することを目的として取り組んだ。今年度は、いじめ問題についての課題提起、各校の取組みの実践交流、協議、今後の取組の全体共有などを行い、各学校・地域において、いじめの未然防止の取組みを進める際に、児童生徒が主体となって話し合いをしていくためのモデルを県内に広めることができた。



部活動などの活躍

●第43回全日本アンサンブルコンテスト高知県中部地区大会

金賞代表 クラリネット四重奏：小島 高橋 佐藤 久保
金賞代表 サキソフォン四重奏：矢田 江口 成田 西垣
銀賞 金管八重奏：中川 眞鍋 竹森圭 西山 西森 楠瀬 吉本 行正
銅賞 打楽器三重奏：高橋 中山 宮崎
銅賞 木管三重奏：越智 矢田 馬場

●第43回全日本アンサンブルコンテスト高知県大会

金賞 サキソフォン四重奏：矢田 江口 成田 西垣
銅賞 クラリネット四重奏：小島 高橋 佐藤 久保

●令和元年度歯・口の健康に関する図画・ポスター並びに啓発標語コンクール

入選 堤 中山 西垣 川上
佳作 上田 今岡 吉本 小森 高島

●第28回大原富枝賞 中学生の部

佳作 上岡

●公益財団法人書道芸術院主催第71回全国学生書道展

半紙の部 奨励賞：中山 曽根 山中 上田

●令和元年度人権作文コンテスト高知県大会

奨励賞 上岡

●第48回高知県教育文化祭 第54回高知県美術教育総合展

毛筆の部 加治木 高島

●令和元年度県統計グラフコンクール第四部

高知県知事賞 竹森
高知県教育長賞 岩井
努力賞 市原
努力賞 岡谷

●第59回JA共済全国小中学生書道コンクール高知県大会

佳作 西原

保健室より

養護教諭 田中牧

788人。これは、この1年間保健室を利用した延べ人数です。少しでも保健室でエネルギーをためて教室で過ごせるようにこの思いを込めて対応してきました。

今、家庭でエネルギーをためていることと思います。4月には、笑顔で学級に来てくれることを期待しています。

令和2年度当初の日程(予定)

4月7日(火) 始業式・着任式・入学式・・・平常登校
4月8日(水) 対面式

【編集後記】

新型コロナウイルスのために、いきなり今年度が終了してしまいましたが、日ごろの探究学習の取り組みを活用して、学校と自宅間でオンライン授業の取り組みを行いました。自宅においても自主的に学習ができることを生徒から感じることができ、これからの成長がますます楽しみになってきました。生徒たちの未来に期待!! (前)

英検 頑張りました!

英語科

本年度も生徒たちは実用英語技能検定(英検)にチャレンジしました。中学校に入学してから英語を学び始めた人も多い中、一つでも上の級を目指して頑張る姿が見られました。合格した級はそれぞれ違いますが、一人ひとりの頑張りが実を結んでいます。

2年

2級：3人 準2級：16人 3級：25人
4級：16人

1年

2級：2人 準2級：1人 3級：11人
4級：18人 5級：17人

高知県立高知国際中学校
〒780-0852 高知県高知市鴨部2丁目5番70号
TEL:088-844-1221 FAX:088-844-4823
URL: <http://www.kochinet.ed.jp/kokusai-jh/>
Email: kokusai-jh@kochinet.ed.jp



平成30年9月 国際バカロレア機構よりMYP 候補校として認定、令和元年5月 DP 候補校として認定されています。
高知県立高知国際中学校・高等学校は、地域や国際社会の発展に貢献できるグローバル人材の育成を行う学校です。
高知県立高知国際高等学校は、令和2年度中にDP認定校となるように準備をすすめています。